

マイクロプラスチック公開講座の計画について

1. マイクロプラスチック公開講座について

(1) チラシ内容の決定

| チラシ内容 | マイクロプラスチック |
|-----------------|--|
| 日時 | 令和3年7月31日（土） 15:00～17:00 |
| 場所 | ZOOM によるオンライン開催 定員 500 名 |
| 申込方法 | 件名「マイクロプラスチック公開講座 参加申込」 ①氏名 ②所属 ③メールアドレスを明記 |
| 主催 | 「矢作川流域圏懇談会」市民部会 |
| 問合せ先 | 国土交通省豊橋河川事務所 調査課 0532-48-8107 |
| 会場 MAP の 代替案 | ・流域圏懇談会 HP の QR コードを添付 ・はぎぼうのイラストを添付 |

(2) 周知方法等の検討

| 検討内容 | マイクロプラスチック |
|--------|---|
| チラシ配布先 | ・地域部会 WG（山・川・海）にて配布 |
| 印刷部数 | 1000 部程度 |
| 周知方法 | ・各地域部会（山・川・海）メンバーの所属先に周知 ・SNS（#矢作川流域圏懇談会 #マイクロプラスチック）を活用 |

(3) プログラム内容について

- 第一部 挨拶（開催趣旨）、問題提起

開催趣旨、問題提起の説明者を決定

第二部

①マイクロプラスチックとは？

②マイクロプラスチックの生態系への広がりについて
（一般論＋他の研究者の研究の紹介）

③プラスチックごみとマイクロプラスチックによる伊勢湾の汚染

④今後の対策～私たちに出来ることは何か？～

第三部 ディスカッション

第四部 閉会挨拶
- 1

(4) 公開講座開催後の検討

① 矢作川流域圏懇談会での活かし方

マイクロプラスチックについての理解が深まり、これらの諸問題を矢作川流域圏では、どのように解決していくかが重要なカギとなる。

② 矢作川流域圏懇談会の周知

公開講座をととして、矢作川流域圏懇談会の活動に興味を抱いた方（特に若者）を地域部会WGにも参画してもらい、世代間交流を推進する。



あなたは

マイクロプラスチック問題の 原因を作っていませんか!?

マイクロプラスチック問題は、いまや、地球温暖化、気候変動に匹敵する緊急に対応すべき環境問題として挙げられています。マイクロプラスチックは、不法投棄されたプラスチック製品はもちろん、水田に撒かれる化学肥料を含むカプセルや、工業用研磨剤、化粧品に含まれているスクラブ材、合成繊維などから発生し、それらが河川や海に流れていき、海洋生態系に大きな影響を与えていることが分かってきています。本講座では、四日市大学環境情報学部教授の千葉氏を講師に招き、マイクロプラスチックの伊勢湾での広がり等の実態や新しい知見について、触れていきます。

講師

千葉 賢 氏

四日市大学環境情報学部 教授

microplastics

プラスチックが 生き物を苦しめている

矢作川流域圏懇談会 公開講座

令和3年 **7月31日(土)** 15:00~17:00

開催方法

ZOOMによるオンライン開催 定員500名

申込
方法

件名「マイクロプラスチック公開講座 参加申込」と①氏名 ②所属
③メールアドレスを明記のうえ 下記メールにお申込みください。

ski.den@ajiko.co.jp

お申込みいただいた方に講座で使用する Zoom の URL をお知らせします。

申込期限：7月21日(水) 17:00 まで

**参加
無料**

主催 「矢作川流域圏懇談会」 市民部会

問合せ先

国土交通省 豊橋河川事務所 調査課 0532-48-8107

講師プロフィール

千葉 賢 氏 四日市大学環境情報学部 教授

東京都武蔵野市生まれ。
東京大学工学部航空学科卒。同大学工学系研究科で学位・博士(工学)を取得。
三井海洋開発(株)、(株)計算流体力学研究所、(株)海洋工学研究所を経て四日市大学へ。
2003年より2007年まで三重県地域結集型共同研究事業「閉鎖性海域の環境創生プロジェクト」(通称:英虞湾プロジェクト)の環境動態シミュレーション部門の研究リーダーを務める。
2016年より現在まで、三重県と共同で、伊勢湾の貧酸素水塊発生問題と漂流漂着ゴミの研究を続けている。



プログラム

- 15:00~15:10 第一部 挨拶(開催趣旨)、問題提起
15:10~16:20 第二部 ①マイクロプラスチックとは?
②マイクロプラスチックの生態系への広がりについて
(一般論+他の研究者の研究の紹介)
③プラスチックごみとマイクロプラスチックによる伊勢湾の汚染
④今後の対策~私たちに出来ることは何か?~
16:20~16:50 第三部 ディスカッション
16:50~17:00 第四部 閉会挨拶



矢作川流域圏懇談会とは?

矢作川流域圏懇談会は、山部会・川部会・海部会・市民部会で構成され、河川管理者だけでは解決できない課題に対して、流域一体となって取り組み、互いに連携し、いい川づくりと調和のとれた流域圏全体の発展につなげるための組織です。“流域は一つ、運命共同体”という共通認識のもと、治水、利水、環境、総合土砂管理、維持管理などの課題に対し、民・学・官の連携・協働で取り組みを行っています。

「市民部会」からのメッセージ

本公開講座は、「市民部会」が全面的に企画推進しています。流域圏全体の共通課題を、多くの人に知ってもらいたいという市民部会メンバーの想いから、この公開講座を開催することになりました。流域圏に住む方たちだけでなく、多種多様な方々の参加をお待ちしております。



矢作川流域圏懇談会ホームページ



カメラをかざして QR コードを読み取ると、矢作川流域圏懇談会の HP にアクセスすることができます。読み取れない方は、以下の URL から、もしくは「矢作川流域圏懇談会」で検索をお願いいたします。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kaigi/yahagigawa/ryuiki-kondan/>



矢作川流域のゆるキャラ
はぎぼう

はぎぼうは、カエルの手とアユの口、ヒレをもツインシの子(うりぼう)。
矢作川流域にすむ陸生、両生、水生の生き物を組み合わせ、流域の自然の豊かさを表しています。背中の模様は「川」の字。ふだんはぼーっとしているけれど、矢作川のこととなると鼻息をフンフンさせながら熱く語る矢作川オタクです。

アカトンボが危ない！

いま、水の中で何が起こっているのか？

**参加
無料**

■講師プロフィール

荻部 治紀 氏 神奈川県立 生命の星・地球博物館 主任学芸員

神奈川県立生命の星・地球博物館 動物・植物グループ 主任学芸員

専門：昆虫系統分類学、保全生態学。

トンボや水生昆虫、甲虫類を中心とした昆虫の系統分類や、小笠原諸島や火山列島での昆虫研究で知られる。

小笠原諸島の固有昆虫をはじめ、絶滅の危機にある昆虫類の研究に早くから取り組み、外来種問題の解決や希少種の保全に向けた活動を全国で展開している。

環境省等の生態系保全関係の各種委員を務める等、希少昆虫の域内保全の第一人者である。

写真

■プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 00:00～00:00 | 第1部 挨拶(開催趣旨)、問題提起(市民部会) |
| 00:00～00:00 | 第2部 講演内容 国内のネオニコチノイド系農薬による 生態系被害の実態 |
| 00:00～00:00 | 第3部 ディスカッション |



矢作川流域圏懇談会とは？

流域圏懇談会は、山部会・川部会・海部会・市民部会で構成され、河川管理者だけでは解決できない課題に対して、流域一体となって取り組み、互いに連携し、いい川づくりと調和のとれた流域圏全体の発展につなげるための組織です。“流域は一つ、運命共同体”という共通認識のもと、治水、利水、環境、総合土砂管理、維持管理などの課題に対し、民・学・官の連携・協働で取り組みを行っています。

「市民部会」からのメッセージ

本公開講座は、「市民部会」が全面的に企画推進しています。流域圏全体の共通課題を、多くの人に知ってもらいたいという市民部会メンバーの思いから、この公開講座を開催することになりました。流域圏に住む方たちだけでなく、多種多様な方々の参加をお待ちしております。



会場 MAP

表 2-1 令和3年度の市民部会スケジュール

| 年間計画 | | マイクロプラスチック公開講座 | ネオニコチノイド公開講座 | バスツアー |
|------|----|-----------------------------|----------------|--------------|
| | | 検討結果 | 検討結果 | 検討結果 |
| 4月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 5月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 6月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | チラシ作成、申込受付開始 | | |
| | 下旬 | | | |
| 7月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 8月 | 上旬 | 第1回公開講座開催（土曜日） 候補日：7月31日 | チラシ作成、申込受付開始 | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 9月 | 上旬 | | | バスツアー開催方針の決定 |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 10月 | 上旬 | | 第2回公開講座開催（土曜日） | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 11月 | 上旬 | | | バスツアー開催（平日） |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 12月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |